

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アレタ児童デイサービス弘明寺		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	79	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年3月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 20
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの工夫と子どもが楽しめる居場所づくり	子どもたちの意見を積極的に取り入れ、活動が固定化しないよう毎月新たなプログラムを提供しています。保護者様からも「毎回楽しみにして通っている」との声を多数いただき、安心できる居場所づくりを意識して取り組んでいます。	今後は、より個々の特性やニーズに合わせた小集団・個別プログラムのバリエーションを増やし、子どもたちが主体的に「やりたい!」と思えるような活動をさらに充実させていきます。
2	アセスメントに基づく丁寧な個別支援計画の作成	事前の面談を通じて保護者様から丁寧にヒアリングを行い、ニーズや課題を客観的に分析した上で計画を作成しています。日々のご様子や発達状況についても、連絡アプリを活用して意識的に細やかな情報共有を行っております。	保護者様との日々の密なコミュニケーションを継続しつつ、ご家庭や学校でのご様子もより深く把握できるよう関係機関との連携を強化し、実態に即したより効果的な支援計画の作成と見直しを図っていきます。
3	ご家庭との信頼関係構築と迅速なサポート体制	お電話や面談での育児相談、トラブル発生時の迅速かつ丁寧な対応を心がけています。アンケートでも「小1の壁を乗り越えられた」「安心して過ごせている」といった大変ありがたいお言葉を頂戴し、スタッフ一同の励みとなっております。	今後もご家庭との信頼関係を第一に、些細な変化や悩みも気軽にご相談いただけるような開かれた環境づくりに努め、保護者様が安心してお子さまを預けられるサポート体制をより一層強化してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の連携や交流の場の不足	「保護者同士の連携支援」に関する項目で「どちらともいえない」「いいえ」が多数を占めました。これまで感染症対策として密集を避けていたことや、日々の業務に追われ企画の時間が取れていなかったことが要因です。	保護者様からの「勉強会や自助会などがあるといい」という貴重なご要望を受け、今後は定期的に茶話会や学習会などを企画・開催し、保護者様同士が気軽に情報交換や悩み相談ができる交流の場づくりに努めてまいります。
2	地域社会や障害のない子どもとの交流機会の不足	事業所の自己評価、保護者様からの評価ともに、地域行事や児童館などとの交流機会が十分でないとの結果が出ました。地域のお祭り等への参加は一部行っていますが、日常的・継続的な交流の仕組み化が不足していると認識しております。	今後は近隣の児童館や地域コミュニティと積極的に連携を図り、イベントへの参加にとどまらず、日常のプログラムの中で地域の方々や障害のない子どもたちと自然に触れ合える機会を意識的に増やしていく工夫が必要だと考えます。
3	活動スペースの有効活用と環境面への配慮	保護者様からのご意見で「一部の部屋が狭く感じる」「子どもたちの距離が近くなっている」とのご指摘をいただきました。利用定員に対する広さは基準を満たしておりますが、活動内容や人数によっては手狭に感じさせてしまう場面があったようです。	子どもたちが安全で快適に過ごせるよう、活動内容に応じた部屋の使い方の見直し、動線の工夫など空間をより有効に活用する取り組みを行います。また、事業所の設備状況について保護者様へ分かりやすくお伝えしていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アレッタ児童デイサービス弘明寺

公表日 2026年3月17日

利用児童数 79名

回収数 27名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	8	0	0	・見渡せる広いスペースとなっている。 ・203は狭い気がする。 ・子供達の距離が近くなっている気がする	活動内容や人数に応じて部屋の使い分けや動線の見直しを行い、子どもたちが安全で快適に、適切な距離感で過ごせるよう空間の有効活用に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	3	0	0	・専門性に関しては個人差があるように感じる。 ・よく見て下さり、子ども自身も職員に相談しやすいと言っている。	職員が相談しやすい存在であることを大切にしつつ、事業所内での研修等を通して、職員全体の専門性やスキルの向上・平準化に努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	10	1	0	・設備等把握できていない。 ・中の細かい点はわからない。	お便りやSNS等を通じて、事業所内の設備や活動環境の様子を写真付きでお伝えするなど、分かりやすい情報発信に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	10	1	0	・中の細かい点はわからない。	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	9	1	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0	・親と面談をし、相談のうえで計画して下さる。 ・面談も丁寧に聞き取って下さり、わからない事や要望に対しての質問も迅速に対応いただいている。	今後も保護者様からのご要望を丁寧に伺いし、関係機関とも連携しながら、お子様の実態に即したより効果的な個別支援計画の作成と見直しを行います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1	0	0	・子どもたちの意見を取り入れて、なおかつ楽しみながら活動しているのが伝わってきます。	今後も子どもたちの「やりたい！」という主体性を大切に、個々の特性やニーズに合わせた小集団・個別プログラムのバリエーションをさらに増やしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	14	2	0	・地域のお祭りへの参加やお出かけプログラムではその様な機会がある様に感じる。	各種イベントへの参加に加え、今後は近隣の児童館や地域コミュニティとの連携を深め、日常のプログラムの中で地域の方や障害のない子どもたちと自然に触れ合える機会を増やしていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1	0	0	・施設に関する説明は十分に行って頂きましたが、制度の部分で小学生から有料になる等あとから知った事がありました。施設だけでなく行政の方でもっと伝える努力をしてほしい。	行政からの案内に留まらず、事業所としても進学等のタイミングで、利用者負担や制度の変更についてより分かりやすくご説明できるよう改善します。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	16	1	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	3	0	0	・丁寧な連絡アプリで様子がわかって良い。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3	0	0	・面談はして頂けています。	今後も定期的な面談を通じて、ご家庭の様子や保護者様のお悩み等を丁寧に伺いし、ご家庭と一体となった支援ができるよう努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	3	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	10	13	0	・保護者同士の連携はともかく、勉強会や自助会などあるといいなと思います。	今後は定期的な茶話会や学習会などを企画・開催し、保護者様同士が気軽に情報交換や悩み相談ができる交流の場づくりに努めます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	7	0	0	・対応して頂いている印象です。 ・これまで苦情が発生する状況になった事がないのでわからない。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	3	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	4	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	2	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	1	0	0	・毎回楽しみにして行きたい時は「アレッタ」と書ける様になった。・トラブルも適切に対応頂き、本人はなんだかんだ楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	3	0	0	・子どもが楽しく通所している。・放課後や休日にアレッタで寄り添って頂いたおかげでいわゆる小1の壁といわれる時期を乗り越えたと感じています。子どもも安心して過ごせている様です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アレッタ児童デイサービス弘明寺				公表日	2026年3月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>		落ち着いて過ごせる場所を確保できるように、空間の使い方を工夫します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>		社員のみとなっている為、パートの皆さんも参画できるよう工夫します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもたちの意見も取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		一概には言えない	利用開始前の関係機関との引継ぎを丁寧に行い、支援につながる情報を共有します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修までは受けていない	地域の関係機関とつながる機会を増やし、助言や研修を受けられる体制を整えます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		可能な機会が少ない事で出ていない	地域のこどもと関わる機会は、無理のない形で実施できる方法を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		アプリを使用し、子供たちの情報共有を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		可能な方へは出来ている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等、開催出来ていない	交流の希望を確認しながら、無理のない形で機会を検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域のお祭りへの参加などは行っている	地域との関わり方を見直し、事業所を知っていただける機会を少しずつ作ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現状、対象児童が居ないが、準備は出来ている		